

## 日中バイオマスフォーラムの講演原稿

農林水産省大臣官房環境政策課課長 藤本潔

2005年11月15日

尊敬する国家環境保護総局羅毅副司長、李遠副司長、尊敬する科技部李宝山処長、清華大学倪維斗教授、ご列席の皆様

本日、ここに著名なる講演者、参加者の皆様をお迎えし、中国側の関係者の皆様、特に国家環境保護総局の方々の多大なる御協力により「日中バイオマスフォーラム」が開催されますことを嬉しく思います。また、小宮山東京大学総長監修による「バイオマス・ニッポン総合戦略」の中国語版の出版を心よりお祝い申し上げます。日本国政府を代表し、全ての参加者の方々に歓迎の意を表したいと思います。

今日、地球レベルでの気候変動といった環境問題への意識の高まりや構造的な原油価格の上昇を背景に世界においてバイオマスに対する関心が高まっております。アジア地域は、急速な経済成長を遂げており、化石資源の需要が今後も堅調に伸びることが予想されています。一方、アジア地域には非常に多くのバイオマス資源が存在します。バイオマス資源は、再生可能かつカーボンニュートラルな特性をもっており、今まで化石燃料に頼っていたエネルギーや製品をバイオマスで代替することにより、持続可能な循環型社会を構築することに大いに貢献します。まさに、今、持続可能な循環型社会の構築が求められております。

日本では、2002年に国家戦略として「バイオマス・ニッポン総合戦略」を策定し、バイオマスの利活用を推進してまいりました。このことにより、この3年間、バイオマスに関する国民の認識が深まり、利活用事例も増えてきておりますが、バイオマス資源の収集、変換、利用までのシステム全体としての運営や、コスト、技術、人材等、解決しなければならない課題が多く残されています。

貴国におかれましても、家畜排せつ物のメタン発酵によるガス利用やバイオマス発電等、地域の実情に合った様々なバイオマス利活用の取組がなされているほか、エタノールなどのバイオマス燃料への取組も進められ、大いに成果が上がっていると伺っております。また、本フォーラムの直前に、北京再生可能エネルギー国際会議2005が成功裏に開催されたと伺っております。このことは、まさにバイオマスを含めた再生エネルギーの大切さを再認識させるものであり、本フォーラムが誠に時宜を得たものであると感じている次第であります。

本日のフォーラムを通して、日中両国が、バイオマス利活用に取組む重要性について相互理解を深め、バイオマスに関する今後の日中間の協力がアジアにおける持続可能な循環型社会の構築に大きく寄与することを祈念して私の挨拶といたします。